

世界初！ 完全循環トイレ『AWトラック』 (Amazing Water)

AW
Amazing Water



2025年5月 改訂版

CGによる製品イメージです
Amazing Water inc.

渋谷区×日本アムウェイ×日本アムウェイ財団 災害時の渋谷区避難民の衛生と安心を守る官民連携の新たなパートナーシップを開始

日本アムウェイ合同会社 2025年5月21日 13時00分



渋谷区（渋谷区宇田川町1-1、区長：長谷部 健）と日本アムウェイ合同会社（本社：東京都渋谷区宇田川町7-1、社長：イリーナ・メンシコヴァ）が災害時の渋谷区内の被災者の衛生と安心を守る新たなパートナーシップを開始したことを5月20日（火）に渋谷区役所で発表しました。

なお、この循環型トイレトラックは8月末に代々木公園で開催される、もしもに備える防災イベント「もしもFES 2025」でお披露目を行う予定です。



（左：日本アムウェイ財団 代表理事/中央：渋谷区 長谷部 区長/右：日本アムウェイ メンシコヴァ 社長）

この新たなパートナーシップには、一般財団法人 日本アムウェイ財団（東京都渋谷区宇田川町7-1、代表理事：佟 嘉楓）より渋谷区へ、災害時の複合発酵技術を活用した汲み取りの必要がない革新的な「循環型トイレトラック」1台の寄贈と、日本アムウェイ合同会社より渋谷区民の避難施設としての本社の施設提供が含まれます。



【「循環型トイレトラック」概要】

災害時に移動が可能なトラック（4t仕様）。内部には、洋式トイレが4つ設置されています。（全てオストメイト対応トイレ）

また、従来型の汲み取り式とは異なり、複合発酵技術を活用した微生物の働きで水を浄化するという、革新的な技術により、ライフラインが停止した状況下でも使用可能な水循環システムを備える、自己完結型の循環式トイレです。汚物の異臭がしない、汚泥がほぼ出ないことが利点であり、汚水を浄化し洗浄水へとリサイクルできます。また必要に応じて、一般財団法人 日本アムウェイ財団が支援している東北被災地をはじめ、渋谷区の災害時相互防災協定を締結している都市への派遣も想定しています。

（製造協力：Amazing Water株式会社）

【参照 ↓】

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000004.000148465.html>

【参照 ↓】

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/contents/photo/>



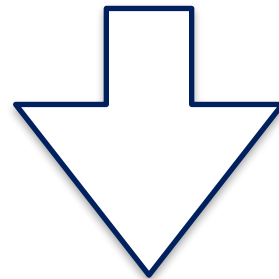
「公衆トイレの改造」



「移動式」



中型トラックの荷台に完全循環トイレを搭載



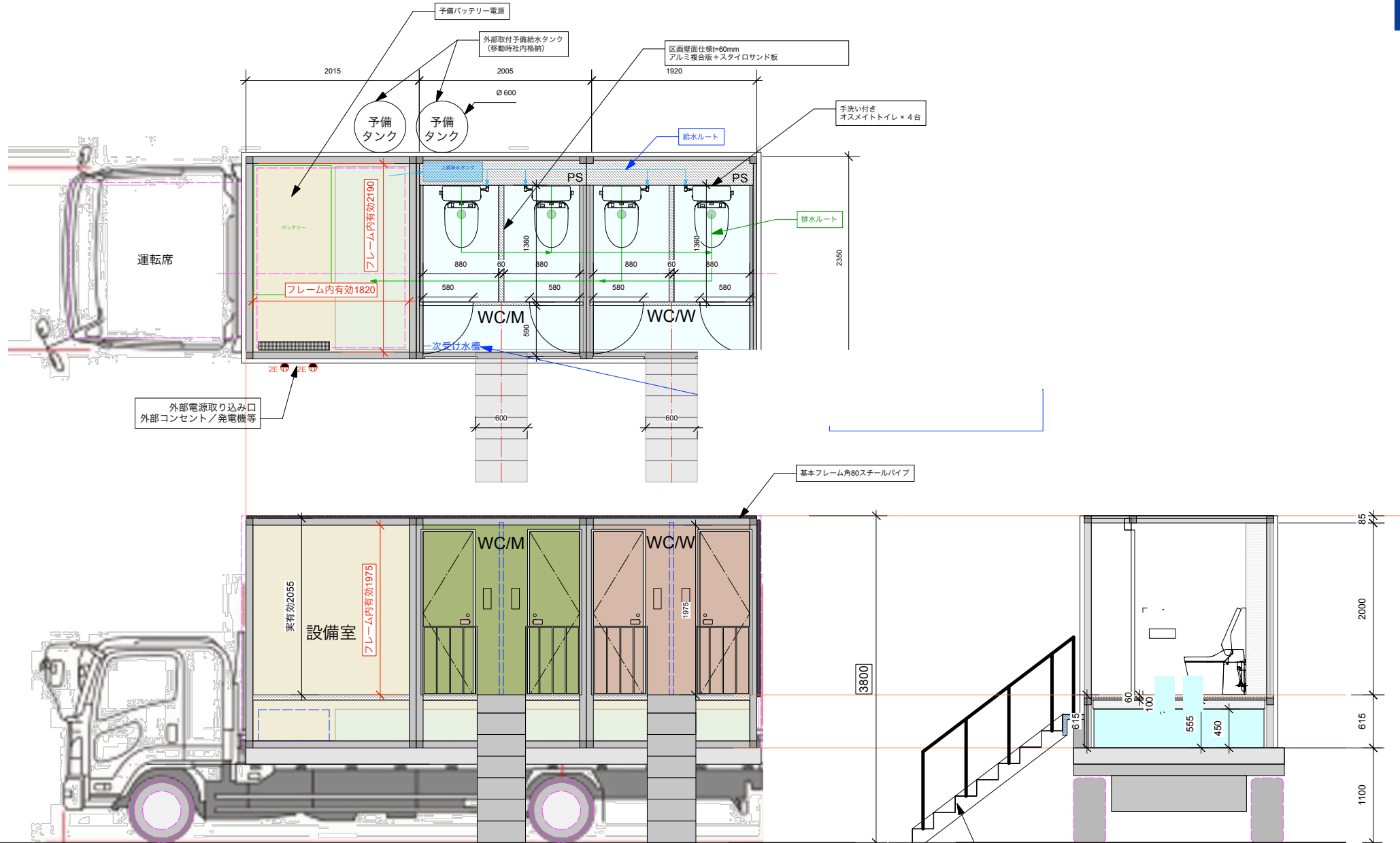
「既存施設の改造」



既存の施設の受水槽を活かし完全循環トイレに改造も可能です。

水の使用量により個別にお見積りいたします。

防災用 完全循環トイレ「AWトラック」

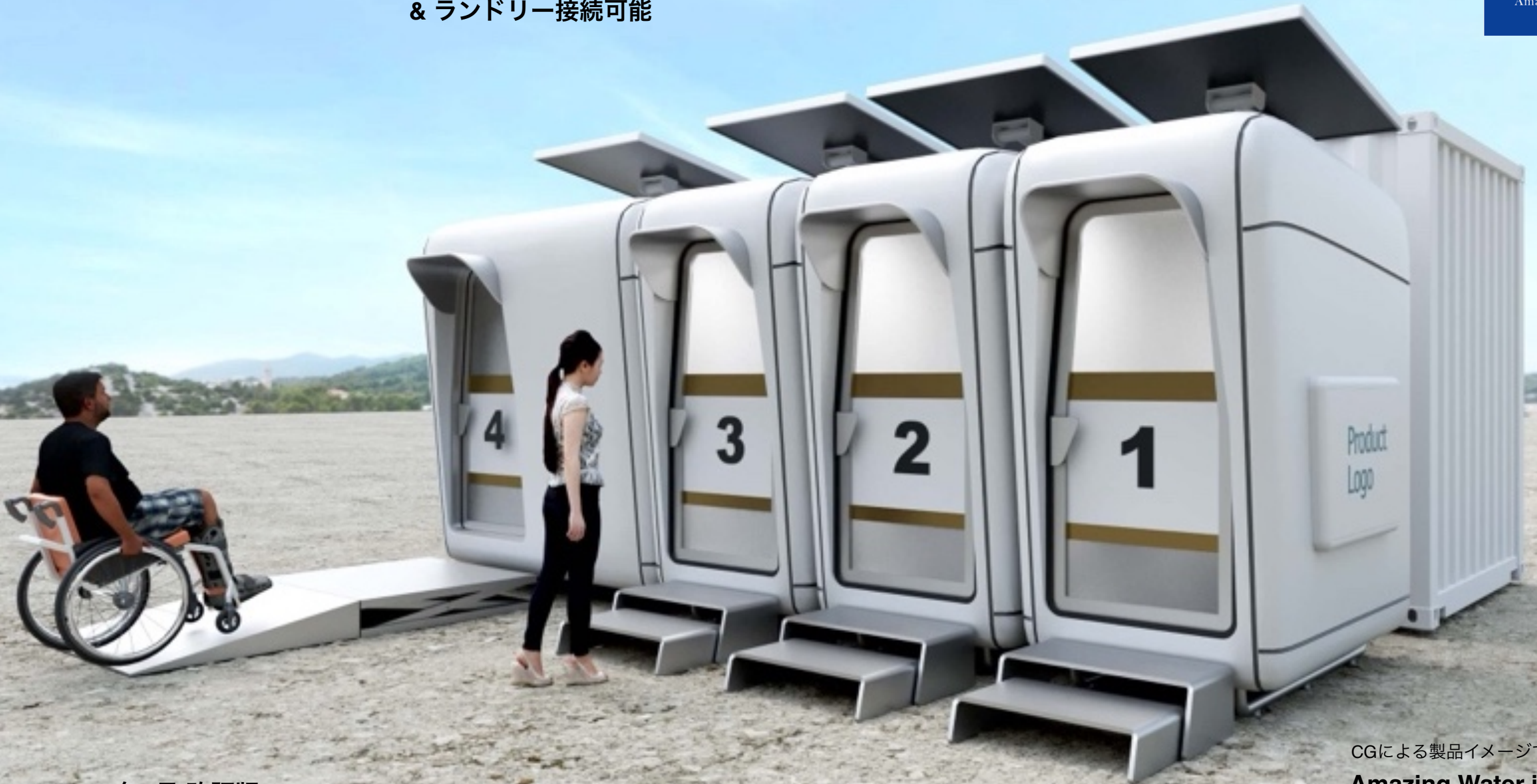


	AW完全循環 トイレ 	みんな元気になる トイレ 	自己処理型水洗トイレ TOWAILET(トワイレ) 	バイオトイレ (バイオラックス) GKL-Wm2-76 	バイオトイレ (バイオR21) MDBRシリーズ PK2B型 
処理方法	複合発酵	水	生分解(微生物処理) + 膜ろ過方式	おがくず	微生物処理
価格	2,800万 - 6,000万 (予価)	2,600万円	2,000万円～	696.3万円 (簡易トイレ室)	436.7万円
一日使用数	完全循環 (270回 - 3,000回)	1,000回 (最大)	288回 (一度に大人数が連続使用 すると故障する)	140～160回	80～100回
汲み取り	不要	必要	必要	必要 (年2～3回おがくず全取換え)	必要
給水	不要	必要	必要 (設置時に約1,000ℓ水が必要)	不要	不要
ウォシュレット	○	○	×	×	×
冷暖房	○ (設置可能)	×	×	×	×
移動	○ (トラック type)	○	△ (クレーン車が必要)	△ (クレーン車が必要)	△ (クレーン車が必要)

完全循環トイレ&シャワー「AW ムーンカプセル」

& ランドリー接続可能

AW
Amazing Water



2025年5月 改訂版

CGによる製品イメージです
Amazing Water inc.

拡張性

完全循環トイレ&シャワー「AW (amazing water)」のシステム

& ランドリー接続可能



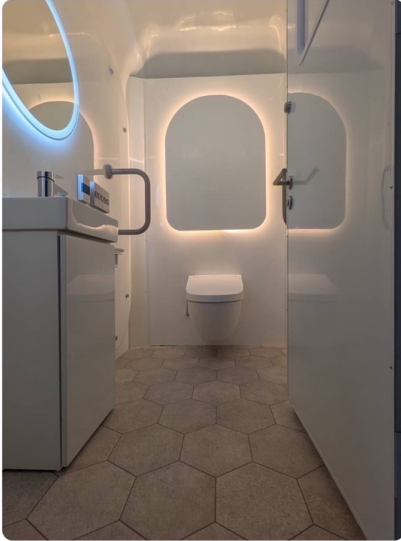
災害時に給水も排水も汲み取りも必要としない自己完結型の「AWムーンカプセル」があれば、「快適なトイレ」「シャワー」「ランドリー」の排水を飲用レベルに浄水することが可能です。世界中で活用されてきた信頼の複合発酵技術を活かした防災対策用のこの「AWムーンカプセル」さえあれば、平時は、公園などに配備して環境にやさしい完全循環トイレとして稼働していて、災害時にはシャワーやランドリーと接続して衛生的な環境の提供が可能です。

製品仕様		処理棟
項目	製品仕様	
トイレ・シャワータイプ	洋式大便器4室（男女）各トイレ個室（シャワー：オプション）	
浄化処理	処理方法	複合発酵＋フィルター処理
	処理能力	1000回～3000回/日（拡張可）・・・自社開発規準
	最大受入量	5,400L
	使用回数	3,000回以上の処理は、追加装備により可能
	1回の処理水量	9L・・・自社開発規準
質量	本体質量	発酵槽：1.1t(FB-9.0)
		処理棟：2.2～2.4t(20ft)
	使用状態質量	発酵槽：2.4 t
		処理棟：16 t
寸法	外形寸法	W:6,120 × D:2,150 × H:3,320 (m)・・・トイレ4つ連結サイズ
		W:6.058 × D:2.438 × H:2.896(m)・・・20ftコンテナ
電源	商用入力	AC100V,200V 50/60Hz
	独立電源システム	LPガスによる発電機：太陽光と蓄電池：水素発電等
	消費電力	4.55VA
周囲温度環境	-20℃～+40℃までは稼働実績あり	
システムメンテナンス	年1回以上	

*多目的トイレの設置も可能

Point!

- ①処理後の水は**化学物質を使わずに大腸菌ゼロを実現**
- ②**完全循環型**なので、排泄物の**汲み取**や水の**補充も不要**
- ③発酵水の効力によって、**悪臭が全くしない**
- ④完全循環トイレは、**上下水道の費用も削減**
- ⑤**太陽光発電 + 蓄電池** or **水素発電** or **バイオ発電**などを**装備可能**
- ⑥**おむつ交換台**を設置。乳幼児用椅子の**設置も可能**
- ⑦**オストメイトケアシャワー**を設置しているので、**清掃もできる**
- ⑧洗練されたデザインにより、**防災意識を上げるアイコンとして機能**
- ⑨既存の公衆トイレや建物自体を**完全循環に改造**することも**可能**
- ⑩完全循環トイレ「**AWトラック**」を**商品化**

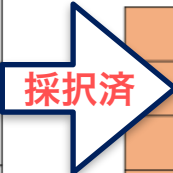


政府は「新しい地方経済・生活環境創生交付金(新地方創生交付金)」を創設

➤ 令和7年 当初:2,000億円 / 令和6年 補正:1,000億円が組まれています。

地域防災緊急整備型の概要

目的	安心・安全で心豊かに暮らせる持続可能な地域経済社会を創るため、トイレ、キッチン、ベッド、風呂の迅速な提供など、避難所の生活環境の抜本的な改善をはじめ、災害にも対応できる魅力的な地域づくりを目指す地方公共団体の先進的な取組を交付金により緊急的に支援
概要	<p>避難所の生活環境改善をはじめ、防災・減災に必要な車両や資機材について、地方公共団体が地域経済の活性化や住民の防災意識の浸透等に向けた平時の利活用も含めて検討し、整備することについて支援</p> <p>【主な車両や資機材の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○快適なトイレ環境…トイレカー、トイレトレーラー、簡易トイレ 等 ○温かい食事や多様なメニュー…キッチンカー、キッチンコンテナ、炊き出し用資機材 等 ○プライバシー確保、ベッド…テント式のパーティション、屋内用インスタントハウス、簡易ベッド 等 ○入浴環境…シャワーカー、水循環型シャワー、仮設入浴設備 等 <p>※このほか、「令和6年能登半島地震を踏まえた有効な新技術～自治体等活用促進カタログ～」で取り上げたような、災害対応上効果が認められ、住民の避難生活環境の向上に資する新技術の活用も対象</p>
交付上限	補助率：1/2 交付上限（国費）：都道府県 6,000万円 指定都市・中核市・中枢中核都市 5,000万円 市区町村 4,000万円
取組の例	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時での避難所支援を前提に、キッチンカーやトイレカー等の導入を進める起業支援 ・小さな拠点等の地域運営と連携したパーティション備蓄等の防災の取組支援 ・災害時連携協定を結ぶ地元業者から防災資機材を導入し、地域経済活性化と被災者支援を連携 など



地域防災緊急整備型の採択結果

<採択結果>

採択事業件数	783件（都道府県 46件、市区町村等 737件）
採択額（国費）	141億円（都道府県 21億円、市区町村等 120億円）

<取組分野別の採択結果> ※重複計上あり

事業種別	事業数
トイレ環境の整備（T）	448件
食事環境の整備（K）	109件
就寝環境の整備（B）	546件
その他	73件

<個別資機材の整備状況> ※主なも

品目	整備数
トイレカーの整備	231台
キッチンカーの整備	47台
簡易ベッドの整備	24.7万個
パーティションの整備	19.8万帳



【参照↓】

https://www.chisou.go.jp/sousei/about/shinchihoukouhukin/pdf/shinchihoukouhukin_gaiyou.pdf

【参照↓】

https://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/r7_0402_saitaku_kekka.pdf

受賞実績・技術承認

コア技術が高い評価を取得

内閣官房

Cabinet Secretariat

2025年 「内閣官房 防災会議」のホームページに掲載（防災庁設置準備参考資料として）

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bousaichou_preparation/dai5/kaisai.html 資料2-12007年 「消防庁長官優秀賞」を受賞（消防防災機器の開発等）
「環境省 環境技術実証事業 山岳トイレ技術として承認取得済み」

コア技術となる「高嶋開発工学総合研究所」の複合発酵技術は、無数の微生物の力を借りて長年社会に貢献しています。

[生活排水の浄化](#)[工業廃水の浄化](#)[農業廃水の浄化](#)[土壌中の有害物質の浄化](#)[畜産排泄物の浄化](#)[放射能除染](#)

<販売実績>

● 東京消防庁「夢の島訓練所」
 沼津市建設部住宅営繕課
 沼津港「大型展望水門びゅうお」
 多摩川河川敷（川崎市）
 神奈川県自然環境保全センター
 静岡県空港整備室(静岡空港展望広場内)
 静岡県太田川ダム建設事務所
 静岡県中部農林事務所
 静岡県周智郡森町亀久保内(ダム展望公園内)
 兵庫県養父市養父市場(やぶこいの街公園内)
 日本アルプス蝶ヶ岳ヒュッテ
 ● 大平中将姫公園内(沼津アルプス登山口)

豊かな自然とのふれあい施設県民の森
 里山ふれあい環境整備有度山(中日本平)
 軍田ヶ谷 高根西ふれあい広場

(株)IHI(愛知県知多市)
 太平洋セメント(株)
 三輪晒染(株)
 加和田建設(株)
 (財)キープ協会
 福田工業(株)
 ユニバーサルフード(株)(江東区豊洲)
 生田ばら苑(川崎市)
 マイセンデリ(株)高津工場

(株)ファームピット ハロン湾(ベトナム社会主義共和国)
 (株)ウォーターフル(韓国ソウル)
 (株)韓国EMBC(韓国仁川市)

<レンタル実績>

● 羽田空港再拡張工事(清水建設)
 ● 羽田空港再拡張工事(鹿島建設)
 ● 第2 東名建設現場(御殿場市駒門)
 日比谷公園「秋の収穫祭」
 東京・「代々木公園ベトナム祭2008」
 東京・「アカサカサカスオープン」夏サカス
 札幌市「環境広場さっぽろ2005」

● 沼津市(水産海浜課)
 沼津駅周辺整備事業
 沼津市「技能五輪会場」工事現場
 沼津市「技能五輪大会」
 沼津港「海人祭」
 沼津市「狩野川花火大会」
 沼津市観光協会
 沼津市西浦「ら・ら・らサンビーチ」
 沼津駅前「夏祭り 花火大会」
 沼津市内マンション建設現場
 ● 静岡市「東名静岡IC」

伊豆縦貫道建設工事(鹿島道路)
 アマダ富士宮工場増築工事(清水建設)
 中外製薬建設現場(藤枝市内)

*100以上ある実績の一部を掲載



東京消防庁夢の島訓練所
発注者：東京消防庁
設置年月：平成17年 6月



三輪晒染俵
発注者：三輪晒染俵
設置年月：平成18年 8月



沼津港「大型展望水門びゅうお」
発注者：沼津市(産業振興部観光交流課)
設置年月：平成18年11月～現在



多摩川河川敷公園
発注者：川崎市
設置年月：平成19年 3月



養父市「やぶこいの街公園」
発注者：兵庫県養父市建設課
設置年月：平成20年12月



須雲川自然探勝歩道
発注者：神奈川県自然環境保全センター
設置年月：平成21年 3月



静岡空港展望公園
発注者：静岡県静岡空港整備室
設置年月：平成21年 3月



太田川ダム展望公園
発注者：静岡県太田川ダム建設事務所
設置年月：平成21年 3月



大平中将姫公園（沼津アルプス登山口）
発注者：沼津市建設部住宅営繕課
設置年月：平成21年12月



豊かな自然とのふれあい施設 県民の森
発注者：静岡県中部農林事務所
設置年月：平成22年4月



沼津市夏祭り（狩野川河川敷内）



沼津市海人祭（沼津港内）



東京赤坂サカス



東京日比谷公園



羽田空港再拡張工事現場（鹿島建設）



羽田空港再拡張工事現場（清水建設）

トイレの排水を無臭で飲用可能なレベルにする複合発酵技術とは？

複合発酵技術とは、植物抽出液及びオカラ、好気性菌、嫌気性菌、通性嫌気性菌等を用いて生成された酵素水を使用し発酵させる技術

排水等下水中に存在する「**毒性のある窒素化合物**」を**効率的に分解**することで、浄化の過程における悪臭や汚泥の発生を抑制し、排水が再利用可能な水質になるまで浄化可能

複合発酵技術は、発酵を起こす菌を**育てる**ことから始まります。

複合発酵の資材の投入は最初の3ヶ月間は週に2回。それ以降は、1ヶ月に一回投入。

できるだけ**トイレの使用回数を増やす**ことで菌が活力を増します。

発酵槽

微生物の発酵作用により糞尿やトイレットペーパーが液状化され発酵が始まります。悪臭はこの時点で完全に無くなります。

発酵合成槽

発酵槽で液状化から発酵状態になった液がここで分解されます。分解された物は、微生物に取り込まれることにより消滅します。人が食べ物を取り込むと、お皿の上から食べ物が消滅するのと同じ現象です。その後、膜分離により微生物と水を分離して、水は次の層へ。微生物は発酵層に戻されて再度仕事をします。

合成槽

分離された水が、光合成細菌や藻菌類・藻類等の力で酵素水になります。この酵素水がトイレの洗浄液をして戻され便器の中で糞尿の悪臭を消失する為、トイレの居室内の臭いも無くなります。

■ 処理水データ ■

・北アルプス蝶ヶ岳ヒュッテにおける実証例より

採水日：平成19年6月11日

この水がトイレに循環します

	定量下限値	発酵槽	合成槽	処理水槽	原水(*1)
pH	少数第1位	7.0	5.5	7.1	
SS	1mg/l	-	-	5未満	
COD	0.5mg/l	870	58	23	7,000
BOD	0.5mg/l	14	3.2	2.6	13,000
大腸菌群数	1個/ml	-		0	100万～1000万
活性汚泥 浮遊物質	1mg/l	2000	180	-	1000万～1億

大腸菌がゼロに

分析データ：財団法人日本環境衛生センター

*1 一般標準値

■ 臭気データ ■

・石川島造船化工機(株)における実証例より

採取期日：平成16年7月1日

	規制基準 (*1)	トイレ内(*2)	発酵槽(*3)	定量下限値
アンモニア	1ppm	<0.1ppm	<0.1ppm	0.1ppm
メチルメルカプタン	0.002ppm	<0.0001ppm	<0.0001ppm	0.0001ppm
硫化水素	0.02ppm	0.0011ppm	0.0014ppm	0.0001ppm
硫化メチル	0.01ppm	<0.0001ppm	<0.0001ppm	0.0001ppm
二硫化メチル	0.009ppm	<0.0001ppm	<0.0001ppm	0.0001ppm
臭気指数(*4)		<10	<10	10



・赤字は定量下限値以下

臭気データ：株式会社環境管理センター

*1 悪臭防止法第4条第1号

*2 トイレ内 高さ0.8m 種別 大気排出口測定 使用後1時間密閉後測定

*3 発酵槽側面 距離1m、高さ1.5m、
風下(当日風向きにより、最も臭気を感じられる場所を測定)
種別 臭気環境測定

*4 種別 臭気官能試験 定量下限値10



上下水道の費用も削減

用途、場所、予算に合わせ設置数をカスタマイズ可能

洗浄水は無臭・大腸菌ゼロ！

微生物の働きで、飲用が可能なレベルに浄化

環境に優しい

発電機でも運用が可能

災害支援に貢献

被災地の衛生管理に貢献できる

行政の負担なし！

完全循環型で汲み取り・汚泥の引き抜き不要
(給水・くみ取りの為の人材が不要)

Q1. 完全循環型トイレとは何ですか？

A1. 上下水道に接続せず、汲み取り不要で、排泄物を内部で分解・浄化し、洗浄水として再利用する「自己完結型」のトイレです。電源や上下水道インフラが断たれた災害時でも稼働可能で、衛生環境を自立的に維持できます。

Q2. 高嶋開発工学総合研究所の「複合発酵技術」とは？

A2. 好気性・嫌気性・通性嫌気性菌等などの多種の微生物を独自のバランスで組み合わせ、汚物・臭気・有害物質を分解する日本独自の先端技術です。化学薬品を使わず汚水を再生します。

Q3. 安全性や処理能力に関する公的な評価はありますか？

A3. 環境省の「環境技術実証事業」に採択され、東京消防庁や静岡空港などに導入実績があります。また、水質は水道法・水質汚濁防止法の基準を満たし、公的評価と実績のある製品です。

Q4. なぜ“大腸菌ゼロ”が可能なのですか？

A4. 複合発酵による微生物処理の多層工程によって、有機物が完全に分解されるためです。再利用される水は無臭かつ衛生的で、飲用可能な水質でトイレ洗浄水として安全に循環します。

Q5. 上下水道や電源がない場所にも設置可能ですか？

A5. はい。太陽光発電＋蓄電池や非常用発電機により、オフグリッド（自立型）で運用可能です。水道が止まった避難所や仮設住宅でも即時に利用できます。

Q6. 設置には重機が必要ですか？

A6. 『ムーンカプセル』型はクレーン付きトラックで設置可能です。（設置約3時間程度）
『AWトラック』（車載型）は中型車両で自走可能な移動式です。（6t中型トラック）

Q7. 設置に必要な面積は？

A7. 約2m×3mの設置面積が必要です。複数設置や多目的トイレ・バリアフリー対応も可能です。

Q8. 使用しない期間があると微生物はどうなりますか？

A8. 微生物は栄養がない環境では静かに生き続けています。なので再使用時に速やかに活性化します。

Q9. 日常的な清掃やメンテナンスは本当に不要なのですか？

A9. 一般的な清掃（床・便器など）は、通常の水洗トイレと同様に必要です。処理ユニットやタンク内部は微生物の活動により分解・液化・循環されるため、汚泥の汲み取りや高圧洗浄などの清掃は不要です。定期的な点検は推奨しています（点検契約あり）。

Q10. 微生物は補充する必要がありますか？

A10. 稼働初期3ヶ月間は、週2回の補充が推奨されます。それ以降は月1回程度。災害地やイベント等で長時間・高頻度に使用される場合や、長期間未使用後の再稼働時には、月1回程度の補充（有償）することで安定した稼働が可能です。

Q11. 塩素系洗剤は使用できますか？

A11. はい。化学物質が流入しても、処理ユニットで微生物が分解処理します。

Q12. 電気消費量はどのくらい？

A12. 約5kWh/日が目安です。太陽光＋蓄電池、もしくは非常用発電機などでも稼働可能です。

Q13. どのような場面で運用されていますか？

A13. 避難所、災害対応拠点、山小屋、キャンプ場、空港、公園、イベント会場などにおいて、常設・仮設を問わず運用されています。特に上下水道の整備が困難な場所での導入が進んでいます。

Q14. 24時間使用される施設にも対応できますか？

A14. はい。1便器あたりの想定使用回数は1日約720回（＝1人2分換算 × 24時間）を想定しており、連続使用や夜間を含む運用にも耐える設計です。災害時の長期避難所などへの導入実績もあります。

Q15. 運用事例にはどのようなものがありますか？

A15. 東京消防庁・神奈川県自然環境センター・静岡空港・豊洲のBBQ場などで導入されています。その他、自治体主催の防災訓練や企業のBCP対策施設においても採用されています。
*導入先は、いずれも事前に設置・検証済みです。

Q16. 災害時に設置場所から移動できますか？

A16. はい可能です。完全循環型でありながら移動型トイレとして設計されており、内部の循環水を抜いた状態での搬送が可能です。災害現場への迅速な展開や、使用後の回収にも対応できる仕様です。

Q17. CO₂削減や水資源の保護に役立ちますか？

A17. はい。上下水道を一切使用せず、給水・汲み取りも不要なため、持続的に水資源の使用をゼロに抑えられます。複合発酵技術により処理過程で酸素が発生し、微生物が有機物を分解する仕組みは、CO₂排出量の抑制に寄与します。

Q18. SDGsにはどう貢献していますか？

A18. 主に以下の目標達成に貢献します：

目標6「安全な水とトイレを世界中に」：上下水道不要で衛生環境を確保

目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」：低電力稼働

目標11「住み続けられるまちづくりを」：災害にも強く、平時も利用可能なインフラの実現

また、災害時に女性や子どもを含む全ての人々が安心してできる安全性も、SDGsの理念に沿っています。

Q19. 自治体としての導入メリットは？

A19. 複合災害（地震・水害等）時におけるトイレ不全による二次被害（感染症・環境汚染・避難所崩壊）を未然に防ぐことができます。さらに、上下水道を使用しない構造により、水道・下水道料金や汲み取り費用がかからず、観光地や自然公園などでの常設利用と、災害時の緊急対応を兼ねる「平時利用×有事対応」の両立が可能で、公共投資としての費用対効果も高いのが特長です。



清潔・快適・安心して
使えるトイレは
公衆衛生の基本



世界初の
日本が誇る発酵技術で
実現したトイレ



災害時でも女性が
清潔・快適
安心して滞在できるトイレ



災害時でも止まらない
トイレと移動して使える
災害支援に貢献



上下水道がなくても
汲み取りや汚泥の引き抜き
不要の永久循環トイレ



各分野の専門家チームが
力を合わせ作り上げた！



太陽光発電と蓄電池
自然エネルギーで動く
エコなトイレ

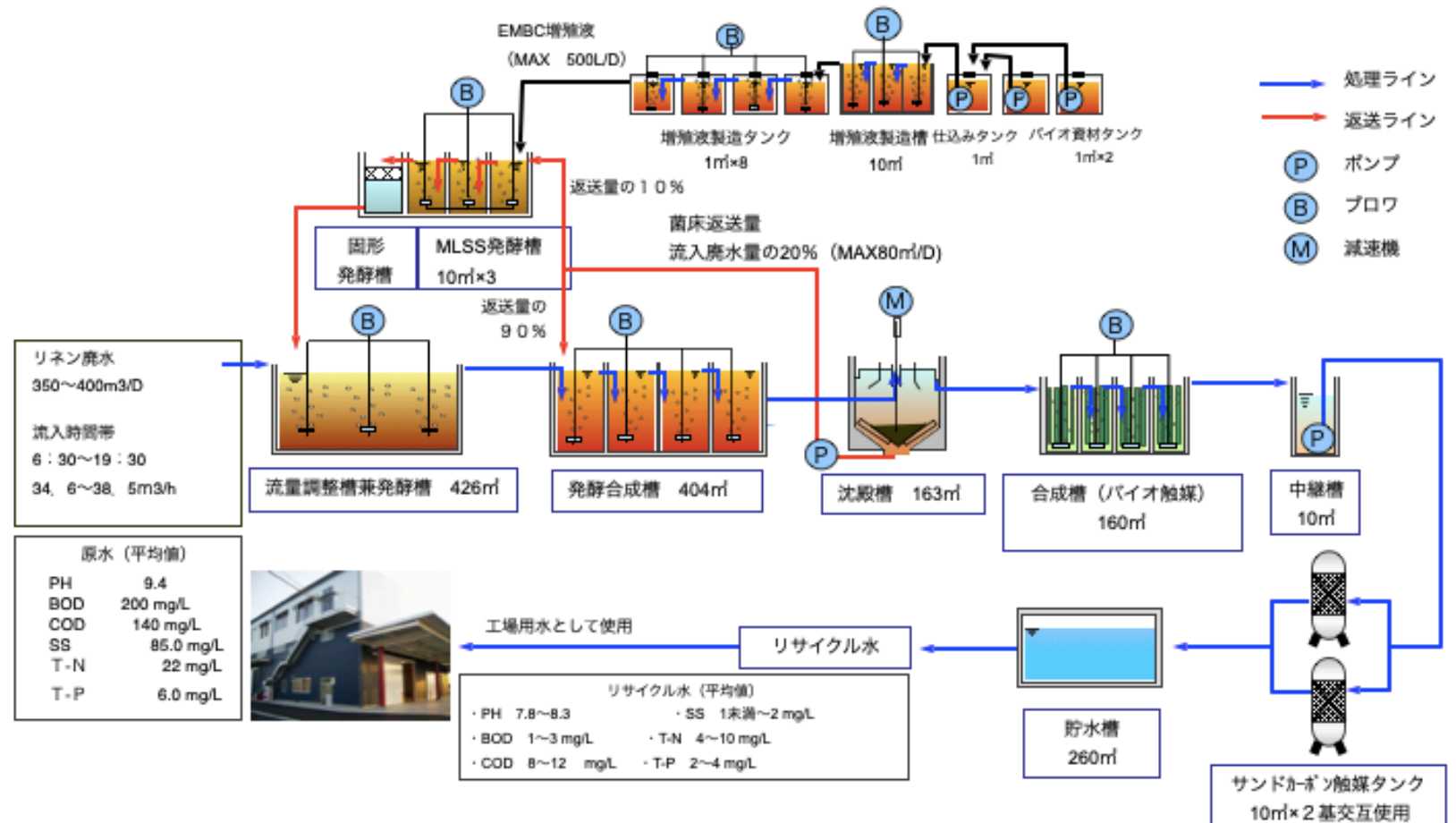




重金属等の無機物や、処理困難物（PCB等の難分解性物質、COD濃度の高い汚染物質、放射性廃棄物等）の分解も可能

このような現象に対する学術的な説明としては、常温での元素転換を微生物が行っているとする説が有力である（東大名誉教授 高橋良治「マイクロ世界の物理学」朱鳥社）

大型洗濯機（連洗及びバッチ式）



最大日量400 t の排水処理に導入して、
年間 約3600万円の上下水道代を節約。

さらに、従来の標準活性汚泥法処理方式
では月間18~30 t の汚泥の引抜きに年間
500万円かかる処理費の節約が実現。

プラント価格は、標準活性汚泥法のプラ
ントとほぼ同額 (2億3000万円 当時)

坂井 学 防災担当大臣など

視察の様子と依頼先

担当：岡部（防災士）

080-5040-9652

担当：若山

090-6856-2624

contact@amazing-water.com



※参加課は、防災課・施設保安課・河川公園課の計17名

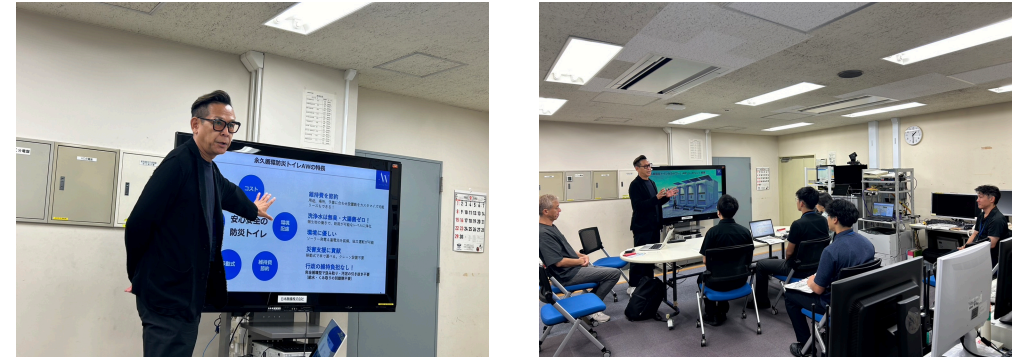
※2024年7月12日

目黒区役所 説明会



※参加課は、資産経営課・防災課課長・みどり土木政策課
※2024年7月16日

新宿区役所 説明会



※参加課は、危機管理課・みどり公園課
※2024年9月12日

江東区打合せ



※公明党都議、区議、防災課、河川公園課
※2024年10月10日

埼玉県宮代町 町長視察会



※埼玉県宮代町長・役場職員・町会議員
※2024年10月24日



※参加は、東京都庁総務局総合防災部・都議会議員
※2024年9月12日

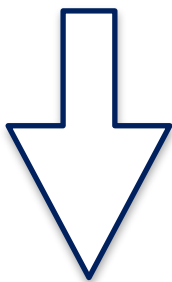
完全循環トイレの現地視察（2024年11月21日）

- ・河合 宏一 内閣府防災担当 審議官
- ・水野 忠幸 内閣府防災担当 参事官（避難生活担当）
- ・小林 園暁 秘書官
- ・李 燁明 秘書官



THE BBQ BEACH (江東区豊洲)

1日に約3000人超の利用実績 (しかも無臭)



■行政からの窓口
担当：岡部 (防災士)
080-5040-9652

■取材等の窓口
担当：若山
090-6856-2624
contact@amazing-water.com



この20 ftのコンテナに搭載したAWの処理ユニットは、「トイレ」「シャワー」「ランドリー」などのユニットを接続して災害時に使用可能。シャンプーや洗剤の使用も、もちろん問題ない。

宿泊施設や社屋の建物を完全循環にすることで、生態系が活発になっている事例



広大な研修施設の中の「富士倫理学苑」などを、既存の浄化槽（88人槽）を活用して曝気。浄化槽の悪臭は無くなり、複合発酵技術により処理された水を植物に散布する中水として利用することで、水のリサイクルを実現し、草木が生き生きとしています。また、毎年数百万円の費用をかけて池の汚泥処理を行ってきましたが、設置後はその必要がなく、池の水は透明になりました。





- ① もともと人が多く**集まる施設**（公園・学校・神社等）
- ② 地下水や**水源がある**（ホテル・温泉旅館・工場の水道代削減）
- ③ **厨房機能**が充実している（ホテル・結婚式場）
- ③ **温浴設備**がある（ゴルフ場・旅館・銭湯）
- ④ **駐車場**が広い（ホームセンター・ショッピングモール等）
- ⑤ 自家**発電機**を持っている（首都圏のビル・工場）



車での避難生活に適している

公衆トイレ

1万6000カ所 / 全国

神社

8万8000カ所 / 全国

寺院

7万7000カ所 / 全国

ゴルフ場

2123カ所 / 全国

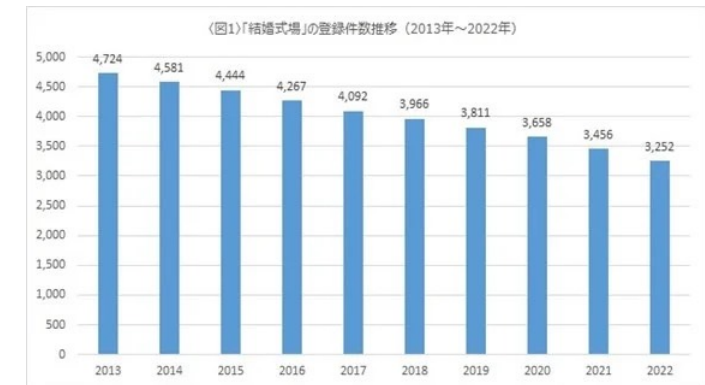


学校

5万8500カ所 / 全国

結婚式場

4000カ所 / 全国



式場は閉鎖されて放置されている

幼稚園～大学までを含めると約58,500校

- 既存施設の改良の場合は、ご要望に沿ったお見積もりをいたします。

AmazingWater 株式会社

代表取締役 谷口秀之

東京都墨田区吾妻橋3-1-7

thc@healing-art.jp

<https://hide-taniguti.com/>

■行政からの窓口
担当：岡部（防災士）
080-5040-9652

■取材等の窓口
担当：若山
090-6856-2624
contact@amazing-water.com

AWは、『高嶋開発工学総合研究所』が開発した、革新的な技術を基にしています。
この「複合微生物動体系解析科学による複合発酵技術」は、高度な廃棄物処理技術で環境負荷を無くし、逆に「環境改善機能」を持つ水を生み出す持続可能なシステムとして、過去に多くの実績と評価を受けてきました。

AWは、その最先端の技術を応用した「ネイチャーポジティブ」な製品です。